

県外で活躍している学生のこえを聞こう ～鳥取市出身学生編～



令和6年度第1回地方創生ストリートミーティング 開催レポート



県外に居住している鳥取市出身の学生に“そと”から見た“鳥取市”の魅力や課題についてお聞きし、人口減少対策の中心課題である、若者定住、転出抑制やUターン促進につながる施策立案のための意見交換を行いました。
また、全国各地に居住している鳥取市出身の学生に参加してもらえよう、オンラインにより実施しました。

■ 開催概要

日 時：2024年8月22日(木)15:30-17:00

会 場：オンライン

参加者：市長、ファシリテーター、鳥取市出身で県外在住の学生7名

REPORTS

【テーマ1】鳥取市の魅力・イメージ

【自然・歴史・文化】

- ・ 多種多様な自然が豊かであり、アクセスが容易。
- ・ 歴史や文化を学ぶ環境が整っている。
- ・ 自分の見方次第で鳥取市の良さに気付ける。

【ひと】

- ・ 普段は活気がない部分もあるが、地域イベントでは一体感が生まれる。
- ・ 地域の方が優しく温かく出迎えてくれる。
- ・ 都市部とは異なり横断歩道で車が停まってくれる。
- ・ 都市部と比べて空間的な余裕があるため精神的な余裕が生まれるのではないかな

【生活環境】

- ・ イベントが盛りだくさんでLINEで予定が通知される。
- ・ 砂丘の駐車場が広くとれていて車でのアクセスが容易。
- ・ 遊びどころが少なく、特定の場所が満員になることがある。

【テーマ2】卒業後に鳥取市へ住みたい、関わりたいか

【卒業後は鳥取市に戻りたい】

- ・ 鳥取を離れて気付いた魅力がたくさんあり、鳥取に戻りたい。
- ・ 観光やまちづくり、地域課題の解決に関わりたい。
- ・ 県外の人からは鳥取に砂丘以外が認知されていないと感じる。自分が感じた魅力を伝えていきたい。
- ・ 都市部と比べて、交通インフラや娯楽、休日の行先が足りない。それがあればもっと魅力的になる。
- ・ 高齢化が進み、公共交通機関の維持が必要。暮らしやすいまちとして発展していけたら良い。

👤 コロナ禍を超えて多くの方が鳥取に来られている。地域の魅力が発信され、今まで行ったことのないような地域が注目されている。

【いつかは鳥取市に戻りたい】

- ・ 企業数が鳥取と比べて都市部ははるかに多く、鳥取は選択肢が少ない。
- ・ 収入面などを考えると就職は都市部でしたい。
- ・ 学生に関わる仕事に就きたいが、鳥取は生徒数が減っているため都市部のほうが働く場所が多い。
- ・ 東京ではいろいろな人との出会いがあり、自分を成長させてくれる。
- ・ 週末は鳥取に立ち寄れる地域での生活や、人生の後半は鳥取で過ごしたいとも考えている。
- ・ 両親の世話のために鳥取に帰ってくる必要がある。
- ・ 鳥取に帰ってきたいと思える選択肢を自分で作れるような人材になって帰りたい。
- ・ 鳥取以外（高松）のほうが住みやすく、休日の行先にも困らない。
- ・ 今の時代ならどこにいても自分のやりたいことができる。どこに住むかはまだ決めていない。

👤 県外で活躍されたあとに帰っていただくことも期待している。

👤 DXにより場所を選ばない働き方も進んでいる。鳥取のポテンシャルを活かすことも考えてもらえたらありがたい。

REPORTS

【テーマ3】若者が帰ってくる、住み続けられるまちにするためにはどのようなことに取り組んだら良いか

【まちづくり】

- ・ 交通インフラが大事だが、発展のためには利用が多くないといけない。お店とも連携してキャンペーンを行うことも良い。
 - ・ 交通インフラはバスや列車に捉われず、全市、全県的に見直してはどうか。交通インフラ向上により、鳥取に居住しながら県外に通勤できるようになると人口増加が見込める。
 - ・ 住みやすさが幸福度に影響しているという研究があり、買物や交通インフラのほかスポーツイベントの充実も効果的ではないかと思う。
- 👤 公共交通の確保、娯楽施設や中心市街地の若者の滞留する場所の不足は課題。まちの活力を引き出すため、普段まちの賑わい創出に参加されていない方も巻き込んでいくことも必要。
- 👤 駅周辺の滞留スペース確保、公共交通の利便性向上に力を入れていきたい。

【経済・雇用】

- ・ 今鳥取にいる学生を取り込まないといけない。鳥取大学から鳥取県で就職する人はそこまで多くないのではないか。
 - ・ インターンシップは学生側から申し込まないといけないが、企業側からもっと積極的にいけるようにする仕組みがあれば良い。
 - ・ 若者の流入のためには、他地域との差別化による魅力発信、鳥取でも活躍できるというロールモデルの発信が重要。鳥取で起業された方をロールモデルとして宣伝することで、起業家が増えたり、若者に魅力を感じてもらえるのではないか。
- 👤 高校生、大学生に向けた市内企業のPRに一層取り組んでいきたい。
- 👤 時代に先駆けた魅力、差別化をし、鳥取で働けることをモデルとして発信し、起業家が活躍できるまちであるべき。
- 👤 若者が未知の領域に挑戦しやすいまちにしなければならない。行政の支援だけでなく、官民一緒になって取り組んでいく時代であると考えている。

【子育て・福祉】

- ・ 子育てをするうえで駅周辺に大きな広場があれば良い。駅の近くで長時間座れる場所がない。
- ・ 親子で参加できる子育ての集まり、同じ悩みを持つ方の集まりがあれば良い。

【その他】

- ・ 商店街やショッピングモールでワークショップを開催して幅広い人に鳥取の魅力を知ってもらうことが大切。梨の試食やジオパークの映像を流すなど、鳥取の魅力を発信していくことが大事。
- ・ 外から見ると魅力的なのに地元の人には当たり前になっていて気付かないことがある。Iターン就職者、観光客など幅広く声を聴いてみるのが良い。
- ・ 鳥取の移住制度があるが認知が足りていないのではないか。